



榎原チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校
学校だより No.51
令和3年 3月 8日
文責:校長 酒井 健

◇榎原小学校の伝統の引き継ぎ「鼓笛移杖式」が行われました

3月5日(金)のお昼休みに、「鼓笛移杖式」が行われました。

今年度は、時間短縮、3密を回避などの配慮をした上での開催となりましたが、無事に、6年生から下級生への移杖式ができたことに、大きな喜びを感じました。

今年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、運動会での鼓笛行進、交通安全の鼓笛パレードがすべて中止となりました。全校生、特に6年生の子どもたちには、活躍の場がなくなってしまい、つらい思いをさせてしまいました。唯一、発表の場があったのは、10月17日に行われた学習発表会で、6年生のみで演奏した鼓笛発表だけでした。

鼓笛移杖式では、6年生から下級生に楽器の引き継ぎが行われ、来年度に向けた新鼓笛隊が立派な演奏をしました。

全校生が、様々な想いを胸に、真剣な表情で式に臨みました。式の中で、私も子どもたちに次のような話をしました。



伝統を引き継ぐ・・・という言葉はたくさん聞かれます。鼓笛については、音楽を引き継ぐ、曲を引き継ぐだけではありません。「真剣に頑張って演奏していた姿」「下級生に丁寧に教えてくれていた姿」つまり6年生の鼓笛に対する強い想いも引き継いでほしいと思います。

今日が、全校生で演奏する「最初で、最後の鼓笛演奏」です。5年生以下の皆さんは、6年生への感謝の気持ちをもって、そして、6年生の皆さんは、これから頑張れというエールの気持ちを胸に、この「鼓笛移杖式」に臨んでください。

鼓笛の発表の場につきましては、現段階では、例年通りの計画を立てております。しかし、コロナウイルス感染状況等を鑑みて、延期や中止となることも想定されます。町の教育委員会のご指導をいただきながら、小学校3校で共通した取組を考えてまいります。来年度になりましたら、またご報告いたします。



校長のひとりごと

昨年の3月から戻ることができず、家でのオンライン授業を続けていた大学生の息子が、いよいよ、東京に戻ることにになりました。大学での授業が再開するのだそうです。親としては、東京に戻って大丈夫なのだろうか、アパートの部屋の中はどうなっているのだろうか・・・心配な部分もありますが、まっ、ようやく大学も再開することに喜びを感じています。母親は、きっと悲しいのでしょうか・・・。

ところで、その息子が、先日、ネットで購入したゲームがあります。一見、ルービックキューブのように見えますが、これはルービックキューブではありません。これは「ルービック ケイジ」というゲームです。ひねって、ひっくり返して展開がどんどん変わる、立体3目並べです。しかも3つの段は横に回転もします。一人一人、順に入れていき早く縦・横・斜めのどこかに3つ色がそろえば勝ち・・・なのですが、そう簡単ではありません。常に360度から見つめ、回転すればどうなる、ひっくり返すとどう変化するなど考える・・・まさに「脳トレ」です。

「物事を真正面からだけ見ては、前に進めない」ことは世の中、たくさんあります。「多面的に物事を見つめること」、学習でも大切です。

